

日本災害情報学会 20 周年記念大会・日本災害復興学会 10 周年記念大会・合同大会に  
参加しました(2018/10/26-28)

テーマ：災害復興，災害情報  
場所：東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）

10月26日(金)～28日(日)の3日間、「日本災害情報学会 20 周年記念大会・日本災害復興学会 10 周年記念大会・合同大会」が開催されました（主催：日本災害情報学会，日本災害復興学会）。今年は，それぞれ 20 周年，10 周年を迎えたため，合同での記念大会となりました。当研究所からは，分科会 2 件，口頭発表 5 件，ポスター発表 1 件，緊急報告 1 件で，計 10 件の研究発表を行いました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

- 分科会「東日本大震災からの東北復興を考える」  
定池祐季：河北新報による他の津波被災地の切り取り方－奥尻島を例に－  
佐藤翔輔：災害復興の学術的ものさしからみる東北の復興過程
- 口頭発表  
佐藤翔輔，今村文彦：2018 年西日本豪雨災害における「#救助」ツイートの傾向：2017 年 7 月九州北部豪雨災害との比較  
杉浦元亮ら：正常性バイアスのシレンマを検証する：東日本大震災津波避難データと感情制御脳科学の視点  
佐藤翔輔，川島秀一，今村文彦：東日本大震災における震災遺構の成立に関する比較研究－仙台市と気仙沼市を事例にして－  
宇田川真之，定池祐季ら：平常時の避難行動意図の規定要因について－和歌山県と静岡県の実験結果から－  
定池祐季：地方紙における被災地報道の変化－北海道南西沖地震に関する北海道新聞の報道から－
- ポスター発表  
佐藤翔輔ら：「全国統一防災模試」による防災意識の啓発と国民の災害対応知識の見える化：地震災害編
- 緊急報告（日本災害情報学会緊急企画「台風 21 号、北海道胆振東部地震」特別セッション）  
定池祐季：北海道胆振東部地震厚真町支援の現場から

著者名は，筆頭者と研究所構成員のみ記載。下線は研究所構成員。



杉浦元亮教授



分科会の様子（定池祐季助教ほか参加）



佐藤翔輔准教授

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）